

# 指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 28 年度

## 1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町放課後児童クラブ (教育政策部教育課)
指定管理者	株式会社 小学館集英社プロダクション 代表者氏名 代表取締役社長 都築 伸一郎
指定管理期間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日
指定管理委託料	30,693,557 円 (平成 28 年度)

## 2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価	
運営状況	・開館日数・開館時間等	開所 289 日 午前 8:00~午後 6:30 午後 2:00~午後 6:30 ※延長は午後 7:00	A	厚生労働省令 63 号第 18 条開所基準の原則 1 年につき 250 日を上回る。
	・委託事業、自主事業の実施	出張型体験教室である「寺小屋くらぶ」を応用した行事を各児童クラブで毎月実施している。	A	弊社教育システム(英語・さんすう)の導入、地域ボランティアの方々にもご協力(絵画・習字・工作など)をいただきながら実施出来た。
	・利用者の満足度	アンケート実施により満足度を確認した。	A	アンケート結果「やや満足」「大満足」が 65.3%と回答を得た。
	・その他(特記事項)	支援員の保育スキルを上げるため、資質向上研修を実施した。 本年は特に防災に特化した研修を実施。 防災備品も各児童クラブに揃える事が出来た。	A	資質向上研修(応用編)では、を 防犯研修 神戸学院大学の協力を得て実施した。 稲美町独自のオリジナルハザードマップも作成し、各クラブ入り口付近に掲示することで保護者の目にも触れ、地域の防災意識の向上にも貢献できている。
施設維持管理	・清掃 ・植栽等管理 ・警備 ・設備保守 ・修繕	弊社本部の安全推進室も協力し、安全点検リストで日・週・月・年単位のチェックリストが完成している。	A	それぞれの児童クラブで作成した独自マニュアルも定着してきている。
	・その他(特記事項)			
利用状況	・利用者数	登録児童数 303 名 全月登録合計 3,636 名 $3,631 \div 12 \text{ヶ月} = 303 \text{名}$ 実績児童数 208 名 クラブ別登録者月平均児童数	A	登録児童数、実績児童数ともに平成 27 年度実績児童数上回る。25 年度から比較すると登録児童数 58.6% 実績児童数 20.9%増とな

		加古 53名 母里 46名 天満1A 50名 天満1B 52名 天満2 50名 天満南 29名 天満東1 40名 天満東2 30名		る。
	・施設稼働率	加古 116% 母里 105% 天満1A 100% 天満1B 118% 天満2 86% 天満南 47% 天満東1 74% 天満東2 81%	A	平成27年度実績を上回るクラブと 下回るクラブに2極化した。
収支状況	・収支計画	利用者が増加し。売上が向上した。	A	利用者増加に対して、適正な人員配置と備品の整備により、効率が向上してきた。
	・経費削減の取り組み	経費削減意識が定着してきた。	A	28年度実績を踏まえて、29年度以降も引き続き意識を高めたい。
運営体制	・人員配置	コーディネーター、リーダー、サブリーダーの組織が確立している。	A	指定管理者4年目ということもあり、適正な人員配置が実施できた。今後は常勤化を促進したい。
	・危機管理体制	マニュアルを見直し、防犯火災、地震の3テーマで、児童の自助努力を促す避難訓練を月1回定例にした。	A	各児童クラブ独自のマニュアルが浸透し意識も向上している。引続き取り組む。研修により防災意識も向上している。
	・苦情要望等への対応	稲美町教育委員会のご協力を得ながら、案件についてその都度対応した。	A	今後も稲美町教育委員会のご指導をいただきながら対応していきたい。
	・個人情報の保護及び情報公開	個人情報を徹底的に管理し、情報公開については稲美町教育委員会と相談しながら運用している。	A	全てのデータについて指定のPC、取扱者を限定、パスワードを決めた上で扱っている。今後も継続する。
	・その他(特記事項)	公の施設として公平性担保につとめた。	A	「公平性の担保」が現場で実施できている。
		総合評価	A	29年度以降も児童や保護者が安心して安全に利用出来る事はもちろん、全ての質を高めていきたい。

### 3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

宿題の履行に努めており、保護者からの評価も高い。  
支援員の資質向上研修を毎月実施し、保育スキルを上げるよう努めている。  
コーディネーター、リーダー、サブリーダーの運営組織を確立し、スムーズな運営に努めている。

### 4 内部検討委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。  
今後も利用者サービスの向上に向けた取り組みを進めるとともに、関係機関との連携を図り、さらなる管理運営の向上に努め、引き続き安定した事業運営に取り組まれない。  
セルフモニタリングを実施するなど、サービス向上に積極的に取り組んでおり評価できる。

### 5 外部検討委員会による評価

総合評価	
------	--

--